

令和 8 年度事業計画書

令和 8 年 4 月 1 日から

令和 9 年 3 月 31 日まで

我が国を取り巻く状況は、長引く燃料・原材料価格の高騰や、不安定な国際情勢による実体経済への影響が依然として懸念されています。一方で、企業業績や賃上げの動きには明るさも見られ、緩やかな景気回復の動きが続いています。

県内経済においても同様の傾向にあるものの、深刻な人手不足や物価高騰によるコスト増は中小・小規模事業者にとって厳しい状況となっています。

このような社会情勢の中、令和 8 年度の岩手県青連といたしましては、昨年度本県において開催されました「商工会青年部全国大会」の成功を大きな糧とし、そこで得た知見やネットワークを今後の組織運営に最大限に活用して参ります。大会を通じて再確認した青年部の結束力を一過性のものとせず、次なる時代に向けた組織の活性化と、部員一人ひとりの資質向上を目指した研修事業等を展開いたします。

また、令和 8 年度は役員任期の 2 年目にあたります。昨年度の全国大会運営で強固となった青年部間の繋がりを基盤とし、リーダー研修会をはじめとする各事業においても、県内青年部員のニーズに沿う内容へとブラッシュアップして運営に臨む他、物産展等青年部らしい新規事業も実施していきます。

併せて、組織強化活動については、喫緊の課題である部員数減少に対し、引き続き県下全青年部員が一丸となって部員増強を推進いたします。地域社会における青年部の役割と社会的意義を戦略的に発信し、次世代を担う若手経営者・後継者の積極的な参画を促せるよう、魅力的な事業を実行していきます。

事業計画の詳細は次頁以降に記載いたします。

1 研修・研究活動

後継者・若手経営者としての資質向上を図るため次の事業を行う。

(1) 商工会青年部リーダー研修会の開催

- | | | | |
|---|-------|-----|--|
| ア | 第 1 回 | 開催日 | 令和 8 年 7 月 2 日（木）～ 3 日（金）（予定） |
| | | 場 所 | 一戸町内 |
| | | 内 容 | 青年部主張発表岩手県大会等 |
| イ | 第 2 回 | 開催日 | 令和 8 年 10 月 27 日（火）～ 29 日（木）（予定） |
| | | 場 所 | 東京都「東京国際フォーラム」等 |
| | | 内 容 | ①商工会青年部・女性部全国組織化 60 周年記念大会
（含む青年部主張発表全国大会）
②先進地視察研修等 |

(2) 第 32 回東北六県・北海道青年部員交流研修会への参加

開催日 令和8年8月21日（金）
場 所 北海道札幌市「ホテル札幌ガーデンパレス」
内 容 青年部主張発表東北六県・北海道ブロック大会等

（３）次世代経営者育成塾

開催日 令和8年10月～12月（全3回）
場 所 盛岡市「岩手県商工会連合会館」
内 容 経営革新・事業承継等の事業計画策定他

（４）経営革新計画承認に向けた取組み

県青連主催のセミナー参加や商工会連合会の事業等の活用を通じて青年部員が自社の生産性向上や経営力向上を図るとともに、経営革新計画法認定企業の輩出を目指す。

※令和8年度経営革新計画法認定企業 目標10件

（５）運営研究会の開催

必要に応じて開催する。

2 組織強化活動

魅力ある青年部づくりを推進するため、部員の意識高揚を図りながら次の事業を行う。

（１）青年部員増強運動の実施

全国的な課題である部員数減少を解決するため、部員の加入推進を図り、魅力ある青年部づくりに資するため、全青年部員一丸となって部員増強運動を組織的かつ積極的に取り組む。

（２）未来の青年部リーダー育成事業

ブロック毎に選出された若干名の青年部員に対し、県青連理事会へのオブザーバー参加やリーダー研修会等の参加費助成等を通じ積極的に県青連事業に関わっていただくことで、地域の若手経営者をけん引する次世代のリーダーを育成することを目的に実施する。

（３）全青連全国統一事業「絆感謝運動」の実施

6月10日に各青年部において、地域や家族との“絆”を確認し、清掃奉仕活動、献血活動福祉施設慰問活動等を実施することで、全国の青年部員の一体感を創出し帰属意識の向上を図る。

（４）青年部手帳の必携及び商工会カードの普及

全青年部員の青年部手帳の必携化を通じて、青年部への帰属意識の向上を図るとともに、地域需要の喚起・拡大、青年部財政基盤の強化を目的に商工会カードの普及促進を図る。

（５）IMPULSEマークの活用方法の検討

全青連によるIMPULSEマークの商標登録と取扱要綱の制定に伴い、

本県における I M P U L S E マークの活用方法や収益事業の可能性について引き続き検討を行う。

(6) 移動県青連の開催

県青連活動・各青年部活動の活性化や、県青連事業の趣旨や進行状況等を共有することを目的に移動県青連を開催し、県青連役員と参加青年部員が、幅広い意見交換を行うことで、今後の県青連事業への反映や意見提言等につなげる。

(7) 青年部活動の P R に係る事業

既存のホームページや F a c e b o o k に加え、I n s t a g r a m 等も活用し、青年部活動を広く P R することで、魅力の発信、帰属意識の強化につなげる。

(8) 野外活動を通じた青年部員交流会

スポーツ等屋外活動を通じ、青年部事業全般の情報交換・青年部員同士の交流を促進するために開催する。

3 岩手県青年部物産展（仮称）

関係青年団体とも連携し、県内若手経営者・後継者が集結する形での物産展を開催する。なお、参加者はテストマーケティングの手法や、商談会で必須になる各種ノウハウを学ぶ研修等を実施したうえで出店を行う。

開催日 令和 8 年 9 月（予定）

場 所 未定

内 容 物産展・交流会他

4 災害支援体制の強化

平成 2 8 年度に策定した「災害対策マニュアル」に基づき、全青年部が大規模災害発生時に迅速な支援活動ができる体制を整備するとともに、自然災害引当金を通じて全青連 1 0 0 円玉募金や被災青年部等に対する義援金の拠出を行う。

5 広報活動

以下の活動を通じて県内全青年部及び青年部員による青年部活動や地域情報等の発信強化を図る。

(1) 県青連公式 H P 等を通じたタイムリーな情報発信

(2) 県連広報誌「商工会いわて」への記事掲載協力

(3) 全国連「月刊商工会」への記事掲載協力

6 意見活動

(1) 知事を囲む懇談会への出席

(2) 岩手県議会商工観光政策研究会と岩手県商工会連合会との懇談会への参加

7 関係団体との連携強化

(1) 東北六県・北海道商工会青年部連合会連絡協議会事業への参加・協力

ア 東北六県・北海道商工会青年部連合会連絡協議会通常総会・役員会

開催日 令和8年5月12日(火)

場 所 福島県いわき市内

イ 第32回東北六県・北海道商工会青年部員交流研修会

開催日 令和8年8月21日(金)

場 所 北海道札幌市「ホテル札幌ガーデンパレス」

内 容 青年部主張発表東北六県・北海道ブロック大会等

ウ 東北六県・北海道商工会青年部連合会連絡協議会第1回会長会議

開催日 令和8年6月16日(火)

場 所 北海道札幌市内

エ 東北六県・北海道商工会青年部連合会連絡協議会第2回会長会議

開催日 令和8年8月6日(木)

場 所 WEB開催

オ 東北六県・北海道商工会青年部連合会連絡協議会第3回会長会議

開催日 令和9年1月

場 所 未定

カ 東北六県・北海道商工会青年部連合会連絡協議会正副会長研修会

開催日 未定

場 所 青森県内

キ 東北六県・北海道商工会青年部連合会連絡協議会正副会長会議

開催日 未定

場 所 岩手県内

(2) 全青連事業への参加・協力

ア 全青連通常総会

開催日 令和8年5月13日(水)

場 所 東京都内

イ 都道府県青連リーダー研修会

開催日・開催場所未定

ウ 都道府県青連会長会議・研修会

開催日・開催場所未定

エ 全青連臨時総会

開催日・開催場所未定

オ 商工会青年部・女性部全国組織化60周年記念大会

開催日 令和8年10月27日(火)～28日(水)

場 所 東京都「東京国際フォーラム」

(3) 岩手県商工同友会との連携・協力

商工同友会総会への参加他必要に応じて連携・協力を行う。

(4) 青年友好団体等関係青年団体の事業への参加・協力

ア 岩手県青年友好5団体情報交換会（仮称）

開催日 令和8年7月上旬

内 容 若手経営者等の資質向上研修、交流会他

場 所 盛岡市内

8 会議等の開催

(1) 通常総会

開催日 令和8年5月11日（月）

場 所 盛岡市「アートホテル盛岡」

(2) 正副会長会議

必要に応じて開催する。

(3) 理事会

ア 第1回 開催日 令和8年4月9日（木）

場 所 盛岡市「岩手県商工会連合会館」

イ 第2回 開催日 令和8年5月11日（月）

場 所 盛岡市「アートホテル盛岡」

ウ 第3回 開催日 令和8年 6月上旬

エ 第4回 開催日 令和8年 8月上旬

オ 第5回 開催日 令和8年11月上旬

カ 第6回 開催日 令和9年 2月下旬

(4) 監査会

開催日 令和8年4月9日（木）

場 所 盛岡市「岩手県商工会連合会館2階」

(5) 青年部長会議

必要に応じて開催する。